



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会  
編集・広報委員会  
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3  
〒807-0025  
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354  
第441号

## 光とつくしみに触れて待降節、降誕祭、降誕節を過ごす フランシスコ・アシジ 谷口尚志

今年も待降節を迎えました。信者として当たり前のことですが、私は典礼暦の季節が移る度に典礼色（待降節は紫色）を意識するようにしています。典礼色は明らかに目に見えるもっとも単純なしるしですから、その典礼色が示す意味を受け取った者には、私自身が移り変わらなければならないという意識、変化、気づきなどが生じます。待降節から続く、降誕祭、降誕節、また、その先の四旬節、復活祭、復活節などの季節の典礼色とその意味に触れ、意識、変化、気づきを自覚しながら過ごしていきたいものです。

さて、待降節の典礼色の紫色が示す意味とはどんなことでしょうか。黒色ではなく紫色ですので、“行動しようとする自分を照らす灯り”を持たせ、それを暗闇の中で常に携帯して夜明けを待ちわびる世の中を歩むように意識させているのだろうと私は考えています。だからこそ、灯りがなければ何も見えない暗闇の中でただ茫然と過ごすことになってしまうことを恐れ、洗礼によって与えられた暗闇を照らすその灯りを携えることも準備の一つとしてわきまえ、自分が預かっているタレントを用いて日々を過ごさなければなりません（マタイ 25・14～27 参照）。

イエス様は神が人類と共に歩むことをその人生をもって示し続けた方です。彼の生涯における生きがいは、罪びと、貧しい人や疎外された人、病の床にある人、苦しみのある人に「いつくしみ」の顔を向けて共に歩まれることであり、徴税人マタイもイエス様の「いつくしみ」の顔と、そのまなざしに触れることで弟子の一人となりました。教皇フランシスコは、そのいつくしみのまなざしに触れて神さまから教皇に選んでいただいたとして、ご自分が教皇となる時に作製する紋章に「miserando atque eligendo＝あわれみ、そして選んだ」という言葉を刻んでいます。

降誕祭を迎えた後、その意味をさらに深めるために降誕節を過ごすこととなります。神さまがイエス様をとおして私たちと共におられる、神さまとイエス様のいつくしみに満ちた顔をすぐ近くに感じ、私たちもその眼差しに癒さ

今月の聖人・ベトナム語ミサ・・・2面  
教会学校のページ・聖書講座・・・3面  
幼稚園から・・・・・・・・・・4面  
委員会等報告・・・・・・・・・・5・6面  
お知らせ・・・・・・・・・・6面

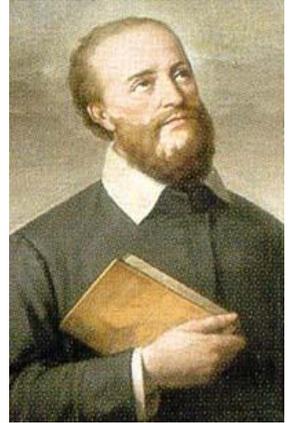
れ、励まされ、同じいつくしみの顔と眼差しを周囲に向けていきましょう。典礼色という、目に見えるもっとも単純なしるし、同時に奥深い意味を持つしるしを見つめながら。



## 今月の聖人

24日 聖フランシスコ・サレジオ司教教会博士 (1567年-1622年)

フランシスコは、フランス、サヴォアの貴族の家に生まれた。パリ大学とパドバ大学に学んで、法学博士となり周囲からの期待も大きかったが、出世の道を望まず、司祭となることを選んだ。1593年に司祭に叙階され、ジュネーブ教区の司牧にあたった。当時は、宗教改革以来の混乱の中にあり、人びとを再び信仰に呼び戻すことに尽力した。その後、ジュネーブ司教補佐を経て1602年に司教となり、教区の刷新に努めた。フランシスコは、聖ヨハンナ・フランシスカ・ド・シャンタルを指導し、1610年に彼女と協力して「聖母訪問修女会」を創立した。



彼は、人びとに言葉と行ないをもって影響を与えるだけでなく、著作によっても人びとを導いた。『信心生活の入門』は、だれでも神の愛に生きられることをあかしし、各国語に翻訳されている。また神への愛を語った『神愛論』は、フランス文学の傑作の一つとされている。彼は、カトリック新聞記者とカトリック著書の保護者とされている。



## ベトナム語ミサに参加して

対馬 須美江

11月17日(日)直方教会で水巻・直方・行橋教会合同でベトナム語のミサが行われました。総勢100名の参加があり、日本語ミサとは違った雰囲気でもとても活気あふれるミサでした。ミサ後皆さんが持ち寄ったベトナム料理を食べながら楽しく過ごし、1日が終わりました。





## 教会学校のページ

12月22日(日)ミサ後、教会学校の子ども達が信徒の皆さんを対象に募金活動を行いました。

その後、マックスバリュで地区ごとに募金活動を行いました。



### 12月1日 待降節第1週 聖書講座 黙想会

講師：レナト・フィリピーニ神父 (大濠カトリック会館 宣教養成センター)

午後2時からの黙想会は水巻教会内外の60数名の信徒が傾聴しました。宣教養成センターの神父様らしくとても丁寧に易しい言葉でお話しされました。

「今日のチャンス」というテーマで私たちにも出来ることがあると教えられました。

以下神父様のお話

毎年12月24日、この日は世界中の人々がクリスマスイブを祝いますが、ほとんどの人々はプレゼントを買って喜び、家族みんなでパーティーをする日になっています。

先日若い女性に「教会でもクリスマスやるんですか？」と聞かれて絶句してしまいました。そうなんですねぇ教会ではこの日は降誕祭と言ってクリスマスとは言わないですね～今日はそのキリストの誕生を祝う日を待ち望む、という意味の待降節第1週にあたります。イルミネーション煌めく夜の街で飲んだり食べたりプレゼント交換して物質的な喜びに浮かれている人々を責めることはできませんね～何故なら人々は神に出会うことで満たされるころの安らぎや人生の目的も知らずに生きているのですから。今がチャンスです。誰からも声をかけられず孤独の中で日々を過ごしている人を思い起こしてください、教会の扉はいつでも開かれていること、神から招待されていることをお伝えください」

記 福嶋 東三子



## 水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 1月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

### 〈水巻聖母幼稚園〉

12月7日、クリスマス生活発表会がありました。自分でなりたい役を選び、自分達で動きや言葉も考えて、楽しんで練習に取り組むことができました。たくさんのお客さんの前でステージに立ち、一人ひとり自分の持っている力を表現することができました。



### 園庭や教会

は、馬小屋やイルミネーションで飾られ、待降節の間、子ども達は「心のプレゼント」を用意しています。「優しい気持ちでお友達と仲良く過ごします」「お友達のためにわたしの手を使います」「心と身体を使ってたくさんの方に挑戦します」など子ども達と考えました。イエス様に届きますように。



TEL : 093 201 9559

e-mail : [ccontactus@mizumakiseibo.ed.jp](mailto:ccontactus@mizumakiseibo.ed.jp)

### 〈マリア子どもの家〉

神父様がお部屋に来られ、待降節のお話をされました。4本のろうそくの意味やクリスマスをお祝いする心で待ち望むことなどについて、お聞きしました。プレゼントをもらうだけのクリスマスではなく、クリスマスの特別の意味が何となく分かったでしょうか。マッチでろうそくに火を点けて、みんなで温まりました。



毎朝、幼稚園の園庭やホールで走ったり、滑り台を滑ったりして体を動かして遊んでいる子ども達ですが、この日は雨が降り、幼稚園の発表会の準備でホールが使えなかったため、マリア子どもの家のテラスで過ごしました。「しあわせなら手をたたこう」の歌に合わせて、



みんなで歌ったり体を動かしたりしました。歌ったり踊ったりすることが大好きなので、自然と体が動いて、笑顔もいっぱいでした。

[https : www.mariahouseofchildren.jp](https://www.mariahouseofchildren.jp)

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家  
園長 水口 由美 教職員 一同

## 委員会等報告

2024年12月分

## 12月度小教区委員会 12月1日

## 1. 行事予定

- ・ 1月 1日(水) <神の母聖マリア> 9時～ミサ。ミサ後～車の祝別。
- ・ 1月 2日(木) 15時～ベトナム語ミサ
- ・ 1月 5日(日) 11時～ミサ  
ミサ後～イルミネーション、馬小屋等の片付け。
- ・ 1月 12日(日) 9時～ミサ  
ミサ後～教会学校、14時～地区宣教司牧評議会(小倉教会)。
- ・ 1月 19日(日) 11時～ミサ  
18時～ベトナム語ミサ
- ・ 1月 26日(日) 9時～ミサ  
ミサ後～教会学校、こころの会

・ 特になし

⑦冠婚葬祭の部

・ 特になし

⑧北九州地区宣教司牧評議会

・ 先日、11月17日(日)の地区宣教司牧評議会で話し合われたことを受けて

1. 教区の各委員会と連動した委員会の設置のための委員の選出(5つの委員会は地区宣教司牧評議会のなかに置かれる)。

→他教会では各委員会の委員が選出され、現状、選出できない場合であっても何らかの報告がされている(12月8日までに地区長のFr,下町師に報告しなければならない)。

→小教区委員から一人ずつ委員を選出し、あわせて、その委員が少なくとも1名の協力者を指名する(12月8日までに)。委員のおもな役割は、①、教区の各委員会での動きを地区における委員同士で確認すること。②、それを自分の小教区において実行していくこと(逆も)。ただ、現状、教区の5つの委員会は組織として不十分なので、まず、各地区における委員が選出された段階で次の段階、本格的な組織作りに移行することになる。

2. 司祭不在に基づく主日の典礼(集会祭儀)の司会者の選出、全信徒を対象とした研修会。

→現在、主日に集まることの重要さに基づいた「集会祭儀」司会者の選出が求められている。来年度より、選出された司会者の養成が始まる予定。ただ、そもそも「ミサ」とは何か、それとは別の「集会祭儀」とは何なのか、

## 2. 議題

(1)各専門委員会および代表委員(営繕、納骨堂、冠婚葬祭)、北九州地区宣教司牧評議委員より

## ①広報委員会

・ 特になし

## ②典礼委員会

・ クリスマスの典礼の確認を行う

## ③総務委員会

・ 特になし

## ④財務委員会

・ 巡礼旅行等を含み20万円程の予算を見込み予算案の作成を急ぐ

## ⑤営繕の部

・ ハンディー掃除機を1台購入した

## ⑥納骨堂管理の部

また、仮に司祭が不在であっても信徒が主日に集まることの意義はどこにあるのかなど、理解できていない、また、知らない信徒が多くいるため、全信徒への研修をあわせて行う必要がある。

→選出を行う前に、全信徒の理解が必要なため、来年の1、2、3月の第3日曜日のミサ後に主任司祭による「集会祭儀」の導入を想定した研修会を開くようにする。また、これとは別に、研修会を経たのちに、地区内において分かち合いや聖書を深める集まり等

の機会を積極的に設け、共通の感覚、意識を持つようにする(自己を養成することを目指す)。

## (2) その他

- ・スロープのつなぎ目より雨漏りしている。どう対処するか。
- ・聖母幼稚園より。荒天の場合、子どもたちや保護者の目に触れることがないため、園庭にある聖母子像をシャッターの手前(外側)に移設したい。

# 1月のおしらせ

## ★元旦ミサ(神の聖母マリアミサ)★

日 時：1月1日(水) 午前9時～  
車の祝別があります。

## ★ベトナム語のミサ★

日 時：1月2日(木) 午後3時～  
司 式：チェン神父様

## ★馬小屋・イルミネーションの片付★

日時：1月5日(日) ミサ後  
ミサ後に馬小屋やクリスマスイルミネーションの片付をします。手伝いができる方はよろしくお願ひします。

## ★レプトン会より★

トラピストクッキーとミサワインの販売

収益金： 14,315 円

皆様のご協力に 感謝いたします。

ペルーの貧しい子どもたちの支援金に活用します。

## ★募金を送金しました★

11月3日～12月15日までに集まったお金を送金しました。

能登地震支援 99,138円

ガザ人道支援 86,097円

引き続き、募金のご協力をお願いします。

## ★街頭募金★

12月22日 街頭募金

(教会内・マックスバリュ)

91,127円

UNHCRの防寒支援活動へ寄付します。

## ★特別献金★

12月1日 宣教地召命促進の日献金

28,407円

ご協力ありがとうございました。

## 人・ひと

【転入】ようこそ、水巻へ！

◇ヨゼフ 戸村 征郎さん

八代教会から海老津地区へ